



鞍ヶ戸山頂

鶴見岳ミヤマキリシマ観賞会

毎年恒例となっている、近鉄ロープウェーと大分西部署共催の「鶴見岳ミヤマキリシマ観賞会」が、5月24日（土）、開催されました。

当日は、天候には余り恵まれなかったものの、昨年とはうってかわってミヤマキリシマは満開。参加者約70往復コースと、鞍ヶ戸経由下山に分かれて、森林浴を楽しみまし

大分署からも、張原流域管理調別府森林官）が応援参加。川原氏加者を魅了。森林や植物に関する



大温度計の前で



なっ

中をしっかりと見ながら、別府の山々のことを一生懸命勉強している様子でした。

また、終了後は、恒例のクイズ高得点者への記念品贈呈。手作りのコースターやまな板・すりこぎ・表札など、森からの素敵な恵みが贈呈されました。



満開のミヤマキリシマ

名は、鞍ヶ戸コースの二班

た。整官・川原森林ふれあい係長（前は昨年同様、絶妙の舌滑りで、参熱心な質問が参加者からも寄せらから別府鶴見岳国有林の担当とた新人の稲貝森林官は、先輩の背



中国研修生 林業地日田を視察

国際協力事業団（JICA）が、半乾燥地緑化のために中国四川省で進めている「四川省森林造成モデル計画」プロジェクトから、研修生3名が当署を訪れました。一行は、一週間にわたって日田市に滞在し、治山現場や造林現場、環境省ビジターセンター、木材市場、パーク堆肥プラント、製材工場、日田杉資料館、大山町梅農家、大分県林業試験場、苗木を生産している苗畑などを精力的に視察。



治山の現場を視察

察。日本の緑化技術や育種・育苗技術などを学びました。半乾燥地での緑

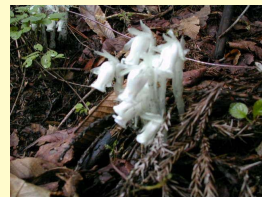


県林試での挿し木実習

化が進み、彼らの生活が向上するとともに、日本に飛来する黄砂が少しでも減少することを、一日も早く期待するところです。

見つけたよ！

ギンリョウソウとシャクジョウソウ



ギンリョウソウ

当署管内のくじゅう山系では、いろいろな植物に出会いますが、稀にめずらしい植物を見かけます。この植物は

葉もなければ葉緑素もない腐性植物（生物の死体や腐敗物などを栄養源とする植物）で見た目には同じように見えますが、よく見ると違う植物です。ギンリョウソウが白く透

き通るような色をしていてシャクジョウソウが少しベージュに近い色をしています。私は

どちらかと言えばギンリョウソウをよく見かけるようです。

（Ku）



シャクジョウソウ